

OISCA DAYCARE CENTER in ABRA (Philippines)

報告：小作 詩織

さかえ幼稚園として5棟目となるオイスカデイケアセンター（小さな幼稚園）が8月18日に完成し、8月下旬にオープニングセレモニーに行ってきました。

BEFORE



学校に行くまでの道のり

- 日本→MANILA：飛行機で4時間
- MANILA→ABRA：車で10時間
- ABRA→PILAL（街）：車で2時間
- さらに整備されていない山道に耐えられる車に乗りかえて30分！！

電気もなく雨漏りもして、床も土のままの状態でした。



生まれ変わったデイケアセンター！！

AFTER



室内はとっても明るく、隣の小学生たちにも大人気！！



トイレも水洗に！！



タンクに大事な水を確保！！



隣の小学校の教室入口です



オープニングセレモニーの様子
園長が感謝状を受け取りました！



キッチンも完備！！



建設中に資材を運ぶお手伝いをして
くださったお母さんたちです！！

次回の訪問も楽しみです！

オイスカデイケアセンター建設地の基準と決定

- ① オイスカ「子どもの森計画」参加校（小学校）付属のデイケアセンター（小さな幼稚園）であること
（オイスカ子どもの森計画や植林等の環境保全活動に協力的な地域であること）
- ② 幼児が学ぶ環境として改善の必要性の緊急度が高いところであること

★今回決定した建設地★

上記の条件からフィリピンのアブラ州のPILAR（ピラール）という場所に決まりました。

→昨年事前視察を行い、車をジープに乗り換えて行く山奥の村で、暗くて今にも壊れそうなバンブーハウスで過ごしている子どもたちの現状を見てきました。小学校も教室数が少なく、4年生からは毎日山を越えて隣村の小学校まで通わなければならない、雨で川が氾濫して学校に行けないということもあるそうです。



今回新しいDaycare Centerが完成し…



- ① 明るくキレイで使いやすい部屋ができ、子どもたちはもちろん、建設中には資材運びのお手伝いに参加した保護者の皆さんもとても喜んでくださいました。
- ② 午前中は幼稚園、午後は小学校の教室として利用できるようになり、4年生になっても隣村まで行かなくても勉強ができるようになりました。
- ③ 植林ツアーでアブラ州を訪問していた日本企業の参加メンバーの方が、今回のオープニングセレモニーに参加していただいたことをきっかけに、小学校にコンピュータールームを完備してくださることになりました。



「子どもの森計画」で植えた木々が育っていました。

今回の訪問を振り返って…

さかえ幼稚園で建設支援をして完成したオイスカデイケアセンターも、アブラ州とイロコス州を合わせて今回で5棟目となりました。過去に他の企業さんが建てたデイケアセンターも合わせると全部で8校あります。今回は新しくできたデイケアセンターも含めてその中の5校を訪問してきました。海の側に建つデイケアセンターでは、潮風で屋根が傷んでいきますので、村の人々がお金を出し合って定期的に補修をしながら大切に使用していただいていたことがわかりました。また、幼稚園で使う教材や備品も年々豊かになっており、環境が整ってきているのを実感することができました。保護者の方は皆さん教育熱心で子どもたちのことを想う一生懸命な姿は、日本もフィリピンの山奥でも変わらないと思いました。

さかえ幼稚園では、おまつり等で販売させていただいている自家製パンやアブラ州研修センターで作っているドライマンゴーなどの売り上げをコツコツコツコツ貯めて、数年に一棟のペースでデイケアセンター建設のお手伝いをさせていただきたいと思います。今後ともご協力よろしくお祈りいたします。

オイスカ子どもの森の説明や今回の訪問の詳しい様子は、秋まつりのオイスカ展示コーナーでご報告させていただきますので、ぜひお立ち寄りください。

